

4月フォーラム（第377回）

「免疫の不思議」 講師：審良 静男 先生

（公財）千里ライフサイエンス振興財団 理事長

大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授

大阪大学先端モダリティ・ドラッグデリバリー
システム研究センター 拠点長

●開催形式：

1. 会場開催

日 時：2025年4月16日（水）18:00～19:00
終了後、懇親会
（講演はどなたでもお申込みいただければ参加可能です）

会 場：千里ライフサイエンスセンタービル
6階「千里ルームA」

なお懇親会は、
対象：千里ライフサイエンスクラブ会員
（懇親会参加費 2,000円）

2. オンデマンド配信（講演録画収録分の後日配信）

配信対象および期間：

- ・千里ライフサイエンスクラブ会員は約2週間
- ・一般（会員以外：要申込み）は3日間

●申込方法：

下記当財団ホームページか二次元バーコードの
「参加申込」からお申込み下さい。

https://www.senri-life.or.jp/event_upcoming/forum/

千里ライフサイエンスクラブ会員とは

<https://www.senri-life.or.jp/scienceclub/>



●講演要旨：

あらゆる生物は、絶えず病原体の侵入の脅威に曝されています。この防御に哺乳動物は二つのタイプの免疫システムを持ちます。一つが自然免疫で、下等生物から高等生物まで共通に持つ免疫機構で、体内に侵入してきた病原体を貪食し消化する役割を持ちます。もう一つは獲得免疫で、T細胞やB細胞が関与し無限の特異性を持った受容体であらゆる抗原を認識します。

自然免疫は、従来まで非特異的と考えられ、哺乳動物においては獲得免疫の成立までの一時しのぎと考えられてきました。しかし、最近、自然免疫も病原体を特異的に認識すること、さらに自然免疫の活性化が獲得免疫の誘導に必須であることが明らかになりました。

このため、従来の免疫理論の大幅な修正が迫られるようになり、感染症に対するワクチン、アレルギー疾患、癌免疫に対する考え方も大きく変化しており、その動向をお話ししたいと思います。

●講師プロフィール：

1977年大阪大学医学部卒業。78～80年堺市立病院内科医師。84年大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了。

以後、日本学術振興会博士研究員、カリフォルニア大学バークレー校博士研究員、大阪大学細胞工学センター免疫研究部門助手、同大学細胞生体工学センター助教授、兵庫医科大学教授を歴任。

99年～2018年大阪大学微生物病研究所教授。2007年より大阪大学免疫学フロンティア研究センター拠点長・教授。2018年より大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授。2022年6月（公財）千里ライフサイエンス振興財団理事長に就任。2022年10月より大阪大学先端モダリティ・ドラッグデリバリーシステム研究センター拠点長。

●受賞歴：

大阪科学賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、ロベルト・コッホ賞、紫綬褒章、朝日賞、恩賜賞・学士院賞、米国科学アカデミー会員、文化功労者、慶應医学賞、ガードナー国際賞、日本学士院会員



問合せ先：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002 E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp